



家庭数



学校ホームページもご覧ください。



綾瀬小だより

3月号

令和5年3月1日

足立区立綾瀬小学校

校長 臼田 治夫

令和5年度に向けて

校長 臼田 治夫

令和5年度へ向けて、今年度を振り返ってみると、保護者の皆様をはじめ関係の皆様へ改めて心より感謝の気持ちでいっぱいです。

保護者の皆様には、新型コロナウイルス感染対策に関する取り組みに対し、多大なるご理解とご協力をいただきました。そして何よりも、お子様の教育に関わる学校からの様々なお願いに、快くご協力いただきました。ありがとうございました。

また、地域、コミュニティスクール、開かれた学校づくり協議会の皆様をはじめ、図書ボランティアの皆様には、学校の良き応援者となり、支えていただきました。本当にありがとうございました。

おかげさまをもちまして感染により学校運営に大きく支障をきたすこともなく、ここまで来ることができました。これからの感染対策への可能性を模索する中、確かな学力の育成、健やかな体の醸成、豊かな心の涵養など、子どもたちの内面を育てることも大変重要ですが、最も重要なのは子どもたちの「安全と安心」です。改めて With コロナにおける対応や過ごし方等をその都度、お知らせして参ります。

保護者や地域の皆様のご理解とご協力の下、欠席する子どもも少なく、大きなトラブルなく、子どもたちがそれぞれの成長を果たしてくれたことをとても嬉しく思っております。心から感謝申し上げます。

6年生については、4月以降のそれぞれの進路先で、1～5年生については新学年で、さらに成長してくれることに期待しております。

令和4年度のご支援、誠にありがとうございました。

不要教材の寄付依頼について

学校で使用するために購入いただいたものうち、ご家庭で使用しなくなった、まだ使用できるものがありましたら、学校に寄付していただきたいと考えています。

例えば、算数で使った「ブロック」、「彫刻刀」や「習字の硯」、まだ新しい「登校帽」や「体育着」「上履き」など。

詳細は配布したお手紙でご確認ください。

今後、学校で用意できるものは極力用意し、私費で購入するものを最小限にしていきます。また、忘れた子どもが学習できないことを極力防ぐことに努めてまいります。ご理解の程、よろしく願いいたします。

絵本の寄贈について

先日、綾瀬小学校に絵本「^{どの}とどまる〇～殿ニューヨークへ行く～」という題名の絵本「Todomaru」さんという方から寄贈いただきました。

33年間ニューヨークで生活し、東京との違いや江戸時代との違いが気になり、この驚きを絵本で表現して多くの人に知ってもらいたいという願いから出版されたそうです。綾瀬小の図書館にあります。手に取って見てください。

